

木で、未来をつくらう！

木材利用ポイント事業 全国47都道府県縦断シンポジウム



(上段左から)沖国有林野部長、宮原林野庁次長、牧元林政部長、C.W.ニコルさんと(下段)乃木坂46のみなさん

昨年4月から始まった木材利用ポイント事業。地域材の適切な利用により、森林の適正な整備・保全、地球温暖化防止及び循環型社会の形成に貢献し、農山漁村地域の振興に資することを目的としています。スギ、ヒノキ、カラマツ等を活用した木造住宅の新築・増築・購入や内装・外装の木質化工事、木材製品及び木質ペレットストーブ・薪ストーブの購入の際に、木材利用ポイントを付与し、地域の農林水産品等と交換できる事業です。

林野庁では、木材利用ポイント事業をきっかけに動き出した、木材利用の機運をさらに高めることと併せて、このポイント事業をさらにPRするため様々なイベント等を行ってきました。

その一環として、3月29日開催の京都会場・佐賀会場を皮切りに、5月18日の宮崎会場まで全国47都道府県を縦断する「木で、未来をつくらう！」と題したシンポジウムを、報道関係各社や林業・木材産業関係者の協力をいただきながら開催してきました。



パネルディスカッションの様子



基調講演を行う沼田林野庁長官



シンポジウム会場の様子



岐阜県(右)と宮城県(左)でのシンポジウム概況報告の様子

木で、未来をつくろう！総括会議

全国47都道府県で実施された縦断シンポジウムでは、日本の森林の現状や資源量の豊かさ、それらの活用をすすめる国の施策紹介とともに、地域の木材を活用した家やリフォーム、木材製品の特徴・メリットの紹介、木材利用ポイントを活用した地域材活用の事例紹介などを通じて、地域で産出される木材を利用する大切さ等についてお伝えしてきました。

5月8日には、各地域で開催されたシンポジウムや地域材活用の取組を総括する「木で、未来をつくろう！総括会議」が、東京・千代田区のイイノホールにおいて開催され、第1部では、ゲストに木材利用ポイントPR大使の乃木坂46のみなさんとC.W・ニコルさんを迎え、宮原林野庁次長、牧元林政部長、沖国有林野部長とともに、各地を代表して宮城県、愛知県、愛媛県でのシンポジウムの概況報告等が行われました。

第2部では、沼田林野庁長官が日本の森林情勢や木材利用の促進について基調講演を行い、「木づかい」によって良い循環を生み出し、森の力で日本を元気にしていただきたいと呼びかけました。

その後、女優の倉科カナさん、C.W・ニコルさん、TOKYO FMパーソナリティーの高橋万里恵さんによるトークショー

や、牧元林政部長、造園家・東京都市大学教授の涌井雅之氏や建築家・東京学芸大学教授の北川原温氏、日本集成材工業協同組合理事長の齋藤敏氏らによるパネルディスカッションが行われ、次世代へ引き継ぐ地球環境も考え、木を使い、森林を守る取り組みについて熱い議論が交わされました。映画「WOODJOB!」神去なあなあ日常」の試写会も行われ、総括会議は盛況のうちに閉会しました。



左から高橋万里恵さん、C.W.ニコルさん、倉科カナさんによるトークショー

木材利用ポイント事業のCMがギャラクシー賞奨励賞を受賞しました

ギャラクシー賞は、放送批評家懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、優秀番組・個人・団体を顕彰する賞です。このギャラクシー賞のCM部門において、木材利用ポイント事業のCMシリーズ「木でつくろう篇」「メイキング篇」が奨励賞を受賞しました。

「木でつくろう篇」では、木でできたクマの人形「きこりくま」が、木を伐り、木材で家具や家などを作り、木材でできた未来都市を完成させることを通じて、木づかいの大切さを訴える内容となっています。

全国47都道府県の木材を使って作られた、愛らしい人形アニメーション。林野庁のホームページからご覧いただけます。



(C) dwarf

林野庁ホームページ <http://www.rinya.maff.go.jp/>